

FCLコンポーネントグループ
2026年度
環境報告書



FCLコンポーネントグループは、環境を経営の最重要課題の一つとし、提供する製品・サービスと事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献していきます。

1. ごあいさつ

「環境を大切に、より良い企業活動を実現する」ことを理念に、FCLコンポーネントグループは1998年より継続して環境負荷低減に取り組んでいます。

近年、世界の平均気温は工業化以前と比べて約1.1℃上昇しており、世界各地で発生する異常気象や自然災害の一因であると指摘されています。こうした気候変動問題への対応として、日本を含む多くの国と地域が「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指し、社会全体で脱炭素化への取り組みが加速しています。

FCLコンポーネントグループは、2024年度に「カーボンニュートラル宣言」を表明し、2050年度までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ（注1）を達成することを目標に掲げています。この目標の実現に向け、省エネルギー活動のさらなる推進に加え、再生可能エネルギーの導入拡大や非化石証書（再エネ指定）の活用など、脱炭素化に向けた取り組みを進めています。

製品開発においても、お客様の脱炭素化や環境課題の解決に貢献する製品開発を推進しています。例えば、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）やEV／PHVなどのグリーン市場向け高容量直流負荷開閉リレーなど、エネルギー利用の効率化や脱炭素社会の実現に貢献するリレー製品を提供しています。また、製品開発・製造においては、エネルギー効率や資源利用効率の向上に取り組むとともに、製品含有化学物質に関する法規制の順守を徹底しています。

FCLコンポーネントグループは、経営層および社員はもとより、お客様、ビジネスパートナー、行政・自治体、地域社会などのステークホルダーとの連携を深めながら、環境目標の達成と持続可能な社会の実現、そして地球環境の保全に向けて行動を続けてまいります。

（注1）二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、全体として排出量を実質ゼロにすること。



FCLコンポーネント株式会社
代表執行役社長
小松 健次

2. 会社概要

本社	FCLコンポーネント株式会社
所在地	〒140-8586 東京都品川区東品川4-12-4 品川シーサイドパークタワー
代表者	代表執行役社長 CEO 小松 健次
設立	2001年10月1日
事業内容	リレー、キーボード、タッチパネル、サーマルプリンタ、無線モジュール、KVMソリューション、複合デバイス（ユニット製品）の製造・販売
資本金	9千万円
資本剰余金	128億1千万円（2025年3月末日現在）
決算期	3月31日
従業員数	1,831名（連結 2026年3月末日現在）
グループ構成	当社含み国内3社（うち1社は販売会社）、海外7社（うち5社は販売会社）の10社にて構成

3. 環境方針

■ FCLコンポーネントグループ環境方針

理念

当グループは、地球環境保全への取り組みを最重要課題であると認識し、「環境を大切に、より良い企業活動を行うこと」を理念とし、コンポーネント製品の開発、設計、製造、販売を行う企業であることを踏まえるとともに、気候変動対策におけるカーボンニュートラルや、持続可能な開発目標（SDGs）に沿った豊かな社会の実現に向けて、ISO14001に準拠した環境マネジメントを推進する。

行動指針

- 当グループの理念である環境保全への取り組みを最重要課題と捉え、当グループの活動、製品、サービスに関わる環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 未来の世代のために地球環境を守る環境活動を通じた持続可能な社会の実現に取り組む。
- 環境と経済の両立に貢献する製品を積極的に提供する。
- 当グループの活動、製品、サービスに関わる環境関連法規、当グループが同意するその他の要求事項を順守する。
- 当グループ指定の有害物質を「入れない」「使わない」「付けない」「出さない」の考えで全廃を維持する^(注1)。
- 社員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じて、持続可能な資源の利用^(注2)、気候変動対策のためのカーボンニュートラル推進、生物多様性保全を始めとした環境の改善に努め、更に広くこれらの社会への普及啓発を図る。

注1 法規制等から除外される用途は対象外とする。

注2 資源の多くは枯渇性のものであり、可能な限り長年に活用できるよう資源を有効に使用するため、環境配慮設計、省エネ、省資源、廃棄物削減、リサイクル等を推進する。

重点項目

当グループの活動、製品、サービスに関わる環境側面のうち、次の項目を環境マネジメントの重点項目として取り組む。

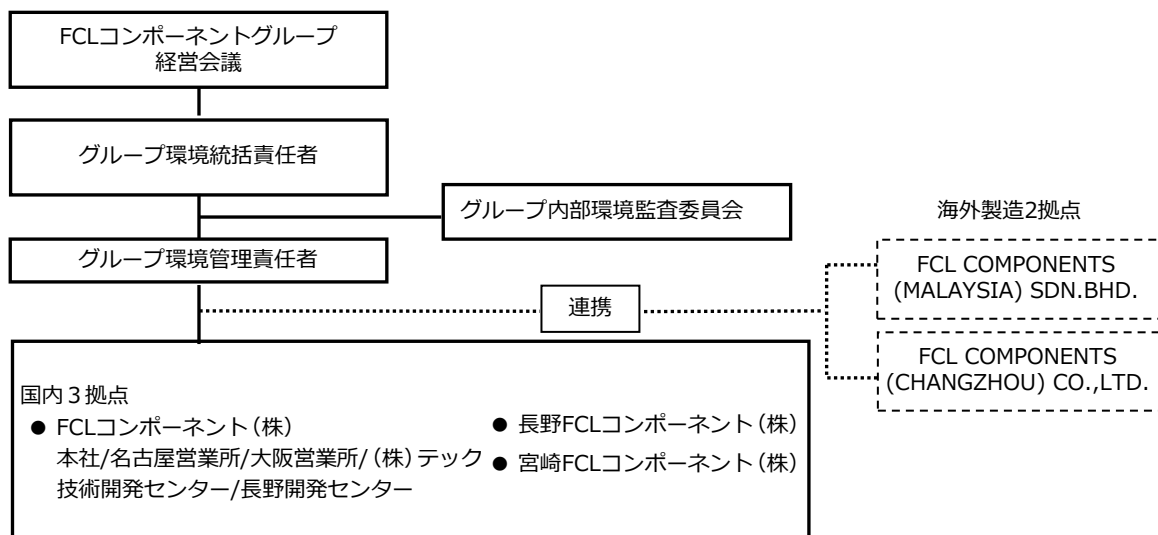
- 製品のライフサイクルにおける環境価値の向上および製品含有化学物質に関する法規制の順守
- 社会・地域貢献活動および生態系保護活動の推進
- 再生可能エネルギー使用率拡大およびエネルギー消費原単位削減によるカーボンニュートラルの推進
- 産業廃棄物排出量原単位の削減

附則

- この環境方針は文書化し、当グループの全領域、全社員に周知させるとともに、一般の人にも開示する。
- この方針の取扱部門は、FCLコンポーネントグループ環境マネジメント事務局とする。

2026年4月13日
FCLコンポーネントグループ
環境統括責任者

4. FCLコンポーネントグループ環境活動の推進組織体制



5. FCLコンポーネントグループ第10期環境行動計画／実績（2025年度～2027年度）

FCLコンポーネントグループ第10期環境行動計画を策定し、2025年度から2027年度末までの具体的な取り組みを設定し活動を行っています。2025年度の活動では、環境配慮製品開発、社会貢献活動、温室効果ガス削減施策項目において目標を上回る活動結果となり、廃棄物排出原単位についても目標達成となりました。

項目	第10期環境行動計画（目的）	2025年度	
		目標	実績
社会への貢献	【製品のライフサイクルにおける環境価値の向上】 1. 環境に配慮し、下記項目のいずれかを満足した製品を2027年度末までに10製品以上開発する。 (1) エネルギー効率がトップレベル製品（注1） (2) 資源効率を1%以上向上した製品（注2） (3) エネルギー・資源効率の向上につながる新技術開発 (4) 製造工程の改善によるエネルギー・資源効率の向上した製品	3製品開発	6製品開発
	2. 製品含有化学物質に関する法規制を順守した製品を提供する。	法規制の順守	逸脱無し
	【社会・地域貢献活動および生態系保護活動の推進】 社会・地域貢献活動と生態系保護を目的とした活動を推進する。	27件	28件
自らの事業活動	【再生可能エネルギー使用率拡大およびエネルギー消費原単位削減によるカーボンニュートラルの施策推進】 1. 再生可能エネルギー使用率を拡大する。	3件	3件
	2. 温室効果ガスの排出量を削減するため、エネルギー消費原単位（注3）を直近5年平均比1%以上削減するための施策を推進する。	15件	18件
	【廃棄物排出原単位の改善】 廃棄物排出原単位を直近5年平均以下にする。（注4）	別表1参照	

別表1 廃棄物排出原単位における2025年度目標／実績

拠点名	原単位	2025年度目標（注5）	2025年度実績
FCLコンポーネント	$\frac{\text{排出量 (kg)}}{\text{売上げ金額 (百万円)}}$	80.9以下	72.3
長野FCLコンポーネント	$\frac{\text{排出量 (kg)}}{\text{売上げ金額 (百万円)}}$	16.6以下	16.1
宮崎FCLコンポーネント	$\frac{\text{排出量 (kg)}}{\text{生産数量 (百万個)}}$	330.4以下	302.3

(注1) エネルギー効率においてトップレベル製品（世界初、業界初、世界最高、業界最高など）をはじめとした、市場の上位に相当する基準を満たす製品
(注2) 製品の省資源化（製品の小型化、軽量化、薄型化、部品点数の削減）または資源循環性（廃棄量の削減、リサイクル性）の向上
(注3) エネルギー消費原単位＝エネルギー消費量（t-CO₂）／生産量（売上げ金額または生産数量） CO₂換算係数は省エネ法で公表された直近の数値を使用する
(注4) 廃棄物排出原単位＝廃棄物排出量（kg）／生産量（売上げ金額または生産数量）
(注5) 直近5年の実績平均をもとに目標値を算出

6. 環境への取り組み

■ 環境配慮製品の開発

FCLコンポーネントグループでは、エネルギー効率や資源効率に優れる製品の開発を推進し、環境と経営の両立に貢献する製品を積極的に提供しています。



■ 主な開発製品

製品種別	開発製品および環境配慮項目	環境配慮性能
サーマルプリンタ	開発製品：カスタムラベルプリンタ 配慮項目：インクジェットカートリッジ未使用による省資源化	省資源化率：従来比35% ※インクカートリッジ生涯不要
タッチパネル	開発製品：NC01111-T242-K 配慮項目：P/Nフィルム変更によるフィルム材重量削減	省資源化率：従来比7% ※フィルム厚188μm⇒175μm
キーボード	開発製品：特定顧客様向け操作パネル NC07005/NC07008 配慮項目：部品点数削減	放熱シート廃止による部品点数削減と製造負荷低減
KVMソリューション	開発製品：特定顧客様向け KVM/KVC 配慮項目：部品見直しによる長寿命と回路設計見直しによる部品点数の省資源化	K V M：長寿命化 従来比06%向上 K V C：長寿命化 従来比14%向上 省資源化 従来比08%削減

■ 社会貢献活動

FCLコンポーネントグループでは、地域社会との共生や生物多様性保全を目的とした社会貢献活動をおこなっています。



■ 主な活動内容



「使い捨てカイロ」回収・寄付
長野FCLコンポーネント（長野県飯山市）



コンタクトレンズケースの回収・寄付
FCLコンポーネント本社（東京都品川区）



左：外来種駆除活動
右：飯山市フラワーロード・ガーデン事業
長野FCLコンポーネント（長野県飯山市）



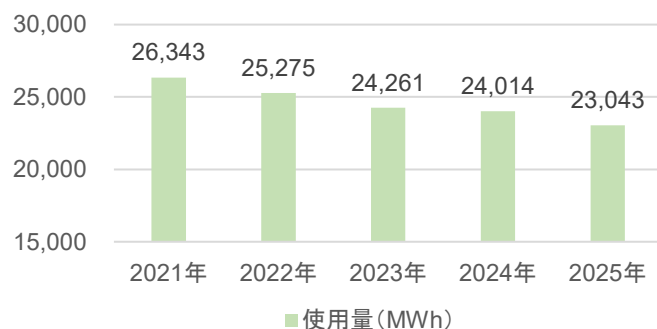
家族帯同による工場周辺の清掃活動
宮崎FCLコンポーネント（宮崎県日南市）

■ 地球温暖化防止への取り組み（エネルギー消費原単位の削減、温室効果ガスCO₂排出量の削減）

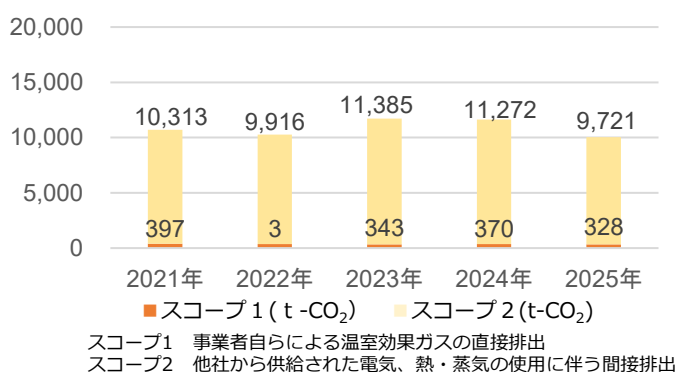
FCLコンポーネントグループでは、継続的に化石由来エネルギー（電力、A重油、LPG など）の使用削減に取り組んでいます。2024年度からは、CO₂を排出する化石燃料に依存しないエネルギーの環境価値を証書化した「非化石証書」を購入するなど「2050年度カーボンニュートラル達成」に向けた取り組みを推進しています。また、上水および地下水の使用量削減にも継続して取り組んでいます。



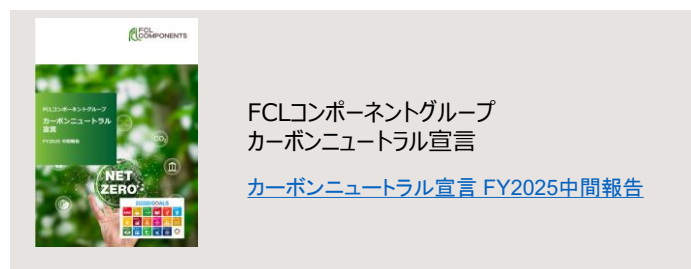
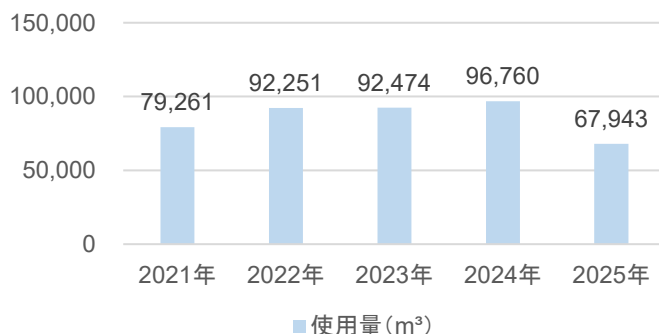
■ 電気使用量の推移



■ CO₂排出量の推移



■ 水使用量の推移

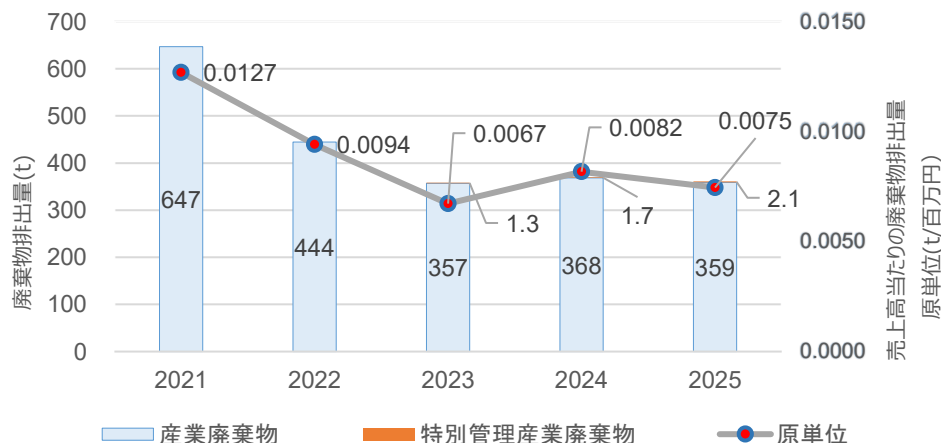


■ 産業廃棄物削減への取り組み

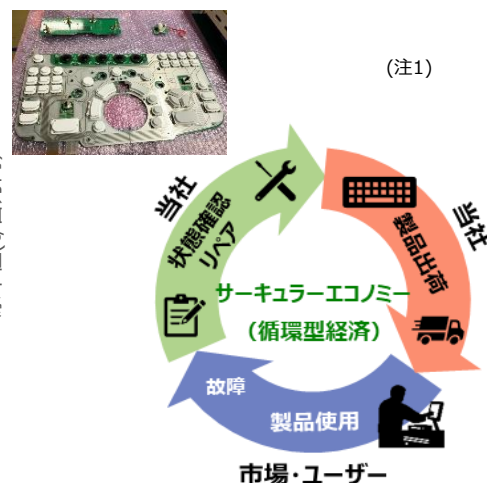
FCLコンポーネントグループでは、社員一人ひとりが3R（リユース・リデュース・リサイクル）の推進を意識し、分別に取り組んでいます。また職場や製造工程から排出する廃棄物は再使用やリサイクル（再資源化）を推進して、排出量の削減に努めています。さらに、当社製品の一部（キーボード、サーマルプリンタ、KVMソリューション製品）に対して、長野FCLコンポーネントリペアセンターにて、市場に出荷した製品のリペアサービスを提供しており、当社製品を長期間ご使用いただくことによるサーキュラーエコノミー（循環型経済）に取り組んでいます。



■ 廃棄物排出量の推移



■ リペアサービス提供による製品の長期間使用



8. 製品含有化学物質管理とグリーン調達

■ 製品含有化学物質管理

すべての購入品は「環境共通購入仕様書」により欧州RoHS指令、REACH規則などの環境法規制に適合した調達を推進しています。

「環境共通購入仕様書」にて指定したFCLコンポーネントグループの含有・使用禁止物質に対しては「含有禁止適合保証書」による適合確認、さらに「chemSHERPA」^(注1)による環境法規制順守の確認を行い、FCLコンポーネントグループの製品および製造工程への含有・使用禁止物質の混入防止や地球環境の保全および生態系への影響の軽減に取り組んでいます。

(注1) アーティクルマネジメント協議会 (JAMP) の情報伝達共通スキーム
(Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chain)



■ グリーン調達

サプライチェーンを通じた環境負荷低減活動を進めており、取引先様には環境マネジメントシステムの構築と地球温暖化防止の活動について取り組みをお願いしています。

9. 責任ある鉱物調達対応

■ 高リスク鉱物への対応

当社製品は、経済協力開発機構 (OECD) のガイダンス^(注1)を参考にし、高リスク鉱物の調査^(注2)を推進しています。

調査では、Responsible Materials Initiative (RMI) の報告テンプレート (CMRTおよびEMRT) を使用しています。

お客様のご要求に信頼できる情報を提供するため、引き続き製錬業者特定やサプライチェーン透明化への取り組みをおこなってまいります。

(注1) 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス
(注2) タンタル・錫・金・タングステンおよびコバルト・マイカ・銅・グラファイト (天然)・リチウム・ニッケルを調査・特定



10. 外部コミュニケーション (外部評価)

■ ISO14001 : 2015 第三者認証を取得

FCLコンポーネントグループは2016年度にISO14001 : 2015年版を取得後、環境負荷低減を図っています。



■ EcoVadis サステナビリティ評価で「ブロンズ」を獲得

2025年度、EcoVadis社 (本社 : フランス) のサステナビリティ評価において上位35%の企業に与えられるブロンズ評価を得ました。

特に「環境」においては積極的な取り組みが高い評価を得ています。



本報告書は、2026年3月現在におけるFCLコンポーネントグループの日本国内の組織および事業活動を対象としています。
なお、複合事業譲渡を目的とした長野FCLコンポーネント株式会社の株式譲渡に関する詳細については、当社ホームページに掲載しているプレスリリースをご参照ください。

FCLコンポーネント株式会社

〒140-8586
東京都品川区東品川4-12-4 品川シーサイドパークタワー

発行責任部署 財務・IT本部 環境・サステナビリティセクション
発行年月日 2026年9月30日
記載事項対象期間 2025年4月1日～2026年3月31日 (2026年度計画も含む)
問合せ先 FCLコンポーネント株式会社
財務・IT本部 環境・サステナビリティセクション
E-mail fcl-sustina@gr.fcl-components.com